



深西だより

学校通信 第3号 令和3年6月29日(火)発行

新機軸 創りあげる人
新活力 豊かな心 強身体

多田さん 円盤投で全国切符!



6月15～18日 室蘭市入江運動公園陸上競技場で行われた全道高校陸上競技選手権大会3日目 女子円盤投に出場した1年生の多田悠理さん(深川中出身)が、5月の高体連でマークした自己ベストを4m更新し第2位に輝き、7月末に行われる北信越総体(インターハイ)への出場を決めました。

中学時代に砲丸投で全国大会出場の経験を持つ多田さんにとって、全道大会前の支部ランキングで5位の位置にいる砲丸投が本命でした。しかし高校初の全道大会に対する緊張とプレッシャーで本来の投擲ができず8位に終わり、涙しました。気持ちを切り替え、翌日に行われた円盤投では、その失敗とプレッシャーを克服し、決勝1投目で大幅な自己新をマークし2位につけ、その後も記録を伸ばし、2位をキープ。高校での初全国切符を手中にしました。

山石くん 全道ボクシングで全道3位!



強烈なストレートを決める山石くん

6月8～11日 札幌市北区体育館で行われた全道高校ボクシング競技選手権大会 フライ級に出場した3年生の山石海翔くん(一已中出身)が、第3位入賞を果たしました。部活動がないため、旭川のジムや旭川工業で練習を積んできた山石くん。初戦は札幌工業の選手を3-0で破り準決勝進出。準決勝では第2シードの札幌創成の選手と対戦。最後まで激闘を繰り広げたものの0-5で破れ決勝進出はなりませんでしたが、自分の力を信じて闘った見事な全道3位でした。

6月9日 3年生対象の進路講演会が本校で行われました。進路別にグループ分けし、大学・短大・看護のグループにはベネッセコーポレーションの講師から、オンラインでスタディーサポートの結果分析、今後の学習方法や取り組み方について話を聞きました。

拓殖短大のグループは、同学教員の方から、学科説明や授業内容について実技も交えながら話を聞きました。

専門学校のグループは、北海道情報専門学校広報課の方から、専門学校の様々な入試制度について話を聞きました。

就職・公務員のグループは空知教育局のキャリアプランニングスーパーバイザーの方から、求人票の見方、履歴書の作成方法、自己PRの方法等について話を聞きました。

公務員試験の申込みが始まり、7月からは求人票の受付も始まることから、差し迫った中、話を聞く3年生の表情は、どのグループも真剣そのものでした。

2年ぶりの学校祭に向けて始動

昨年コロナにより中止となった学校祭が、規模を縮小し、一般公開しない形で2年ぶりに実施することになりました。6月23日には、行灯作成に向けた作業用テントの設営が行われ、いよいよ準備が本格化してきます。



7月の行事予定

- 3日(土) 公務員模試
- 10日(土) 学校祭
- 11日(日) 学校祭
- 12日(月) 学校祭後片付け
- 13日(火) 振替休日
- 14日(水) 振替休日
- 15日(木) 丸川カキタラ-訪問、3年生三者面談(～8/31)
- 16日(金) 保健講話 学研実践小論文模試
- 17日(土) 全経電卓検定 ベネッセ総合学力記述模試
- 19日(月) 進路講演会(1・2年)
- 20日(火) locusフィールドスタディ(2年)
- 21日(水) 全校集会
- 22日(木) 夏季休業(～8/16) 夏期講習(～29日)

楽しみにしていた保護者や地域住民の皆さまには大変申し訳ありませんが、万全な感染対策をすることが困難なため、今年の学校祭については、公道での行灯行進をとりやめ、その他全ての催しものについて一般公開をせずに、規模を縮小し実施することとなりました。花火の実施も見送りました。このような状況をご理解いただき、その中でも伝統を継承するために、学校祭の活動に励む深西生を暖かく見守っていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

<発行者> 北海道深川西高等学校 担当: 総務部

<電話> 0164-23-2263 <FAX> 0164-23-2264

<E-mail> hukagawanishi-z0@hokkaido-c.ed.jp

<ホームページQRコード>





高体連空知支部予選結果報告

5月18日から2週間に渡り、高体連空知支部予選会が行われました。昨年はコロナ感染拡大により、全種目が中止となり、多くの高校生が絶望のどん底に突き落とされましたが、今年は無観客という条件はありましたが、万全な感染対策を施して2年ぶりの開催にこぎつけました。昨年の悔しい思いを背負い、この間自分達が積んできた練習と仲間を信じ、果敢に空知管内のライバルに挑みました。

《テニス部》 ・男子団体 第3位／男子ダブルス 第2位（川田・山本組） 第3位（久保田・盛本組）
・女子団体 第3位／女子シングルス 第3位（宮川萌花）

《卓球部》 女子団体 第3位

《男子バスケット部》 対滝川工業戦 70-98

《バドミントン部》 ・男子ダブルス：ベスト8、シングルス：ベスト8
・女子シングルス：ベスト8

《男子バレー部》 第3位（決勝リーグ1勝2敗）

《女子バレー部》 第3位（決勝リーグ1勝2敗）

2位が目標でした。決勝リーグの滝高戦は接戦を制することができず負けましたが、滝西戦では自分達のペースで試合を進めることができ、自分達がやってきたことを全て出し切りました。仲間と過ごした時間は最高の思い出になりました。

＜男子バレー部主将・齊藤倅太・一已中出身＞

正直「辞めたい」と泣いたことや辛い思い出もたくさんありましたが、3年間最後まで続けた分、終わった時には大きなやり甲斐を感じました。泣いたり、笑ったりの3年間で、主将としても成長することができました。たくさんの仲間と思い出をかみしめた高体連でした。

＜女子バレー部主将・篠田実侑・秩父別中出身＞



当番校として会場設営や後片付けなど部員全員で協力して行うことができました。コロナ禍、大会に出場出来たことに感謝と喜びを感じています。たくさんの応援、ありがとうございました。

＜テニス部主将・川田俊輝・深川中出身＞

まだまだ努力を重ねて全道に進出できるように、後輩達には頑張って欲しいと思います。

＜バドミントン部主将・前田十吾・一已中出身＞

《弓道部》 ・男子団体 予選敗退 7中／40射

・女子団体 予選敗退7中／40射

《陸上競技部》

・男子110mH 第6位（伊東）
・男子400mH 第5位（宮崎）
・女子200m 優勝・女子走幅跳 優勝・女子三段跳 優勝（菅谷）
・女子800m 第4位・女子1500m 第3位（前田）
・女子100mH 優勝・女子7種競技 優勝（今田）
・女子やり投 第2位（加藤）
・女子砲丸投 優勝・女子円盤投 第2位・女子やり投 第6位（多田）
・女子100m 第5位・女子200m 第5位・女子走幅跳 第5位（一戸）
・女子4×100mR 優勝（一戸-菅谷-今田-多田）
・女子4×400mR 第2位（今田-前田-多田-菅谷）
・女子総合第2位 トラック第3位、女子フィールド 第2位

個人で4冠を達成し、深西陸上部の伝統を引き継ぐことができました。リレーでも何度も練習したバトンパスが決まり、チームベストを更新して、みんなで喜び合うことができました。次は全道大会でさらなるレベルアップを目指します。

＜陸上競技部主将・菅谷末侑・一已中出身＞

上記の結果より、テニス部4名（旭川）、陸上競技部10名（室蘭）、部活動のないボクシング1名（札幌）、水泳1名（函館）が高体連全道大会に出場しています。

文化系も活躍!!

5月27日 高文連空知支部放送発表大会に放送局が作品を提出。メディア審査が行われ、ラジオドキュメント・創作ラジオドラマ・テレビドラマの3部門で優秀賞、研究発表部門で最優秀賞を獲得し、いずれの部門でも全道大会への出場権を獲得しました。

6月22日 生きがい文化センターで高文連美術春季大会が本校当番校で行われ、美術部員がホスト役として活躍しました。当日は札幌大谷大学から講師に来てもらい、分野別に分かれて研修を深めました。

6月23日 高文連空知支部音楽発表大会吹奏楽部門に出場した吹奏楽局は小編成の部で連盟賞に輝き、10月に行われる全道大会に駒を進めました。

6月25日 高文連写真春季研究大会が行われ、2年生の高井萌伽さん（妹背牛中出身）が入選し、全道大会（10月）への出品が決定しました。



最後のチャンスとなった今年、大会だからと考え込むより、まずは全力で楽しみ、笑顔で終わろうと臨みました。演奏後は「楽しかった」と言う言葉が全員にあふれました。

＜吹奏楽局局長・高田のぞみ・一已中出身＞



久々の大会の上に最後の高体連であり、一射一射に緊張感とプレッシャーを強く感じ、練習の成果を思う存分には発揮できませんでした。弓道に出会い、礼儀作法や忍耐力を身につけることができ、弓道と言う武道に出会えて良かったです。

＜弓道部主将・明月愛花・深川中出身＞

